



平成30年度 事業報告書

90749

特定非営利活動法人believe

1 事業の成果

児童福祉法に基づくしょうがい児通所支援事業 (believe)

・児童発達支援事業

個別支援計画書に基づき、ADL自立に向けてスモールステップで取り組みました。食器操作性の向上、トイレトレーニング、着脱等、ひとりひとりがスキルアップできました。集団療育としては、日々のやりとりの中でコミュニケーションやルールの有る遊びの展開等集団活動参加に必要なソーシャルスキルの向上に取り組みました。音楽教室、リトミックの活動を通じては、模倣、合わせる力、聴知覚と運動の協応、身体のコントロール等の上達が見られました。公認心理師による認知・対応の力を育むサーキットゲームも取り組み始めました。

運動面では、週一回の作業療法士プログラムの他、様々な公園での遊具、夏のプール遊びを通じて、各々ボディイメージと身体の使い方の上達や自信を見せてくれました。

行事としては、春秋の遠足、運動会、クリスマス会等実施しました。じゃがいも等、畑での収穫も体験し、自然との触れ合い、食育の良い機会となりました。様々な製作活動にも取り組みました。

家庭支援としては、年二回の面談の他、保護者勉強会を実施でき、相談や交流の機会を作ることができました。新入園児の保護者には、日々の連絡帳に加え、小ノートをやり取りして、わが子のしょうがい受容、前向きな理解と対応を丁寧に導くようにしました。

・放課後等デイサービス事業

少人数での音楽教室、リトミックではバラエティに富んだ課題で、音楽の楽しさを味わい、おやつ作りの活動では各々の役割發揮、共同活動の楽しさを味わいました。体が大きくなって、エネルギーが豊富な年代なので、戸外活動を充実させて、爽快感を味わえるようにしました。ひとりひとりの意思表示や好奇心を細やかにくみ取り、達成感と承認の機会を尊重するようにしました。

お友達の誕生日には、おやつを作ってお祝いする等仲間意識を育てていきました。

科学館等へのお出掛け、茶道体験やフラワーアレンジメント体験の機会を作りました。

おやつ買いでは、地域の様々なお店へ行き、好きなものを選び、地域交流の良い機会となりました。

家庭支援としては、年二回の面談の他クリスマス会での家族交流、学校等連携訪問、保護者向け勉強会を実施しました。他事業所との支援者会議も開き、連絡帳の他にLINE相談等を取り入れる等子どもの発達を多角的に捉えて支援できるよう拡充しました。

相談支援事業 (Kanon)

・しょうがい児相談支援事業および特定相談支援事業

地域で広く、切れ目なく、連携して支援が行われるよう、しょうがい児支援利用計画やサービス等利用計画策定後の支援者会議やモニタリング等にも力を注ぎました。1件1件

丁寧にご相談を行い、公的サービスに結びついていなかったご家庭の支援も行うことが出来ました。地域における法人としての信頼と役割を、より確固たるものにすることが出来ました。自立支援協議会への参加や、しょうがい児福祉計画の策定にも関わり、相談支援事業所として、地域での役割を果たすことができています。

しょうがい者総合支援法に基づくしょうがい福祉サービス事業 (cafe&farm Lento)

・生活介護事業及び就労継続支援B型事業

年間利用者は生活介護3名、就労継続支援B型9名の合計12名となりました。職人(利用者)がひとりひとり輝き、意欲的に生活及び仕事できるように環境を整え、活動に取り組んできました。就労継続支援B型では、カフェでの接客販売・ランチでの調理配達・内職での受注作業等、様々なお仕事を用意することにより、ひとりひとりの特性や強みに合わせる事ができました。お店を構え配達を行うことにより、地域の方々との交流や広がりを実感することができました。平均で月額12527円を工賃として支払うことができました。生活介護事業では、ポスティングや畑作業、内職作業のお仕事を用意して、体を動かす活動をメインに日中活動の充実を図りました。平均で3000円程度の工賃の支払いをすることができました。

・しょうがい児(者)生活サポート事業(aria)

緊急時の受け入れや、保護者のレスパイトケア、余暇支援を行いました。利用頻度は多くないものの、それぞれのご家庭の状況に合わせた1対1の支援を提供できました。

2 事業の実施に関する事項(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
児童福祉法に基づくしょうがい児通所支援事業	児童発達支援	月～金 9:30～13:30	事業所	6人	草加市と近隣地域の児童	10人
	放課後等デイサービス	月～金 15:00～17:00 (月～金 13:30～17:00 学校休業日)				24人
児童福祉法に基づくしょうがい児相談支援事業	しょうがい児相談支援	月～金 9:30～17:30	事業所	2人	草加市と近隣地域の児童	120人

しょうがい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業	特定相談支援	月～金 9:30～ 17:30	事業所	2人	草加市と近隣地域の成人	16人	
しょうがい福祉サービス事業	就労継続支援B型	月～金 9:30～	事業所	7人	草加市と近隣地域の成人	9人	24,060
	生活介護	16:00				3人	
しょうがい福祉サービス事業	しょうがい児(者)生活サポート事業	通期	事業所	6人	草加市と近隣地域の成人	10人	2,674

平成30年度活動計算書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

特定非営利活動法人believe
代表理事 近藤 啓之

(単位:円)

科目	金額		
I 障害児通所施設事業			
1 自立支援費給付費等収入			
訓練等給付費収益	15,971,586		
サービス利用計画作成費収益	1,897,890		
		17,869,476	
2 障害児施設給付費等収入			
障害児施設給付費収益	24,649,300		
		24,649,300	
3 生活サポート補助金収益	345,660		
		345,660	
4 草加市相談支援事業補助金	1,419,182		
		1,419,182	
5 利用料収入	2,179,946		
6 寄付金収入		2,179,946	
正会員受取会費	33,000		
受取寄付金	0		
		33,000	
収入計			46,496,564
II 就労支援事業収入			
就労継続支援B型収入	4,405,664		
生活介護収入	106,404		
収入計①		4,512,068	
材料費			
期首棚卸高	0		
当期材料仕入高	3,062,750		
期末棚卸高	0		
材料費計②		3,062,750	
支払工賃			
就労継続支援B型	1,342,914		
生活介護	106,404		
支払工賃計③		1,449,318	
就労支援事業収支計(①-②-③)			0
収入合計(I+II)			46,496,564
III 事業費			
人件費	28,289,234		
厚生保険	8,193,080		
労災保険	188,373		
労働保険	147,998		
交通費	456,593		
給食費	268,749		
燃料費	706,874		
光熱費	509,637		
通信費	377,607		
備品	118,681		
駐車料	771,590		
支払家賃	1,072,500		
手数料	29,642		
公租公課	907,802		
車両費	723,690		
研修費	78,256		
支払保険料	1,041,695		
その他の経費	2,047,331		
減価償却費	2,190,823		
事業費計		48,120,155	
IV 事業収支計(I-III)			-1,623,591
V 経常収支			
経常収入			
受取利息	76		
経常費用			
支払利息	332,906		
経常収支計			-1,956,421
VI 当期事業損失			
前期正味財産額	5,843,635		
当期正味財産額	-1,956,421		
次期繰越正味財産額			3,887,214

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

特定非営利活動法人believe

代表理事 近藤 啓之

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	5,390,580		
流動資産合計		5,390,580	
2 固定資産			
運搬車両	2,054,880		
建物	34,232,266		
造作・設備	12,000,469		
敷金	190,000		
固定資産合計		48,477,615	
資産合計			53,868,195
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	36,244,000		
代表者	7,736,981		
代表者母	6,000,000		
固定負債合計		49,980,981	
負債合計			49,980,981
III 正味財産額の部			
前期繰越正味財産	5,843,635		
当期正味財産額		-1,956,421	
正味財産額合計			3,887,214
負債・正味財産合計			53,868,195

財産目録

(平成31年3月31日現在)

特定非営利活動法人believe
代表理事

(単位:円)

科目		金額	
流動資産			
現金	手持現金	35,953	
			35,953
預貯金	瀧野川信金	4,234,412	
	ゆうちょ銀行	1,120,215	
			5,354,627
流動資産合計			5,390,580
2 固定資産			
運搬車両	日産セレナ	494,328	
	トヨタハイエース	421,152	
	スズキラパン	491,400	
	トヨタノア	378,000	
	トヨタタウンエース	270,000	
			2,054,880
建物		34,232,266	
			34,232,266
造作		9,622,319	
			9,622,319
設備			
冷凍庫		214,914	
炊飯器		194,914	
マルチクッカー		577,269	
食器洗淨機		423,914	
次亜水生成装置		402,339	
殺菌庫		132,800	
食器消毒保管庫		172,000	
キャビネットテーブル		100,000	
パイプ棚		160,000	
			2,378,150
敷金		190,000	
			190,000
固定資産合計			48,477,615
資産計			53,868,195
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
流動負債合計			0
2 固定負債			
長期借入金	日本政策金融公庫	36,244,000	
	代表者	7,736,981	
	代表者母	6,000,000	
借入金計			49,980,981
固定負債合計			49,980,981
負債合計			49,980,981
III 正味財産額の部			
前期繰越正味財産		5,843,635	
当期正味財産額		-1,956,421	
正味財産額合計			3,887,214
負債・正味財産額合計			53,868,195